

# 議会だより

No.67

令和4年5月10日

# わかがわ



栃木県那珂川町

テーマ(新しい生活)  
プラス with コロナ

## 主な内容

3月定例会の結果 (2P～7P)  
ここが聞きたい! 一般質問(6人) (8P～13P)  
議会・委員会のうごき (14P～15P)  
キラリ☆まちおこし・編集後記 (16P)

# 令和4年度当初予算

第2回  
定例会

## 一般会計80億3千万円

前年度比9億2千万円 10.3%減

## 予算総額137億3650万円 前年度比5.7%減

令和4年第2回那珂川町議会定例会は、3月2日に開会し、会期を15日までの14日間と定め、一般質問のほか、令和4年度当初予算の審査、条例の制定や改正、令和3年度補正予算の審議などを行いました。

一般質問は6人の議員が行いました。

今期定例会には報告1件、議案29件が上程され、全ての議案が可決されました。

- ・ 町長提案 報告 1件:放棄した債権の報告
- 議案 29件:人権擁護委員の推薦、犯罪被害者等支援条例の制定、  
体育施設条例の一部改正など条例改正11件、指定管理者の指定2件、補正予算5件、新年度当初予算8件 など

### 4年度当初予算

予  
算

#### 一般会計

前年度比10・3%減

令和4年度当初予算について予算審査特別委員会で審議され、本会議では全ての会計が可決されました。

一般会計は、10・3%減の80億3千万円。

特別会計6会計は2・0%増の50億1100万円。

水道事業は0・3%減の6億9550万円。

一般会計、特別会計及び水道事業の全8会計で前年度比5・7%減の総額137億円となりました。

#### ◆主な新規・拡充事業

##### 【新規】

- ・分譲宅地整備事業
- ・サテライトオフィス事業
- ・コンビニ交付導入事業
- ・先天性股関節脱臼健診費助成事業
- ・電気自動車補助

- ・認定こども園への大型遊具設置
- ・屋内水泳場管理運営
- ・屋内水泳場オープニングイベント

##### 【拡充】

- ・那珂よし健康ポイント事業
- ・放課後児童クラブ運営事業
- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業
- ・子宮頸がんワクチン接種事業
- ・国体準備事業

#### 予算審査特別委員会

#### ◆予算審査特別委員会の設置及び 予算審査の状況

令和4年度当初予算審査のため、議員全員を委員とする予算審査特別委員会（福田浩二委員長）を設置しました。

各課長等から予算内容の説明を受け、5日間にわたり審査を行い、本会議最終日の15日に審査結果を報告しました。

##### ◎開催日（審査日）

3月4日、3月7、11日

##### ◎審議結果

各会計予算は、いずれも可決すべし

◆ 付帯意見

1 屋内水泳場の管理運営について

町民の健康増進と福祉の向上を図り、利用しやすい施設となるよう適正に管理運営されたい。

2 移住・定住対策について

分譲宅地整備事業やサテライトオフィス事業、モニターツアー事業など、各課連携して移住・定住につながるよう、事業を推進されたい。

3 放課後児童クラブ施設の改善について

少子化の中で利用者が増加しており、児童が安全で安心して快適に過ごすことができる施設となるよう、改善されたい。

4 コミュニティ・スクールについて

地域と学校が連携し、様々な活動に地域住民が参加でき、地域全体で子どもを育ていくよう努められたい。

5 ケーブルテレビ施設更新事業について

ケーブルテレビ光化基本計画に基づいた、施設整備実施設計業務委託については、最小の経費で最大の効果を挙げるよう努められたい。

令和4年度予算総額（一般会計、特別会計、企業会計） 137億3650万円（前年比5.7%減）

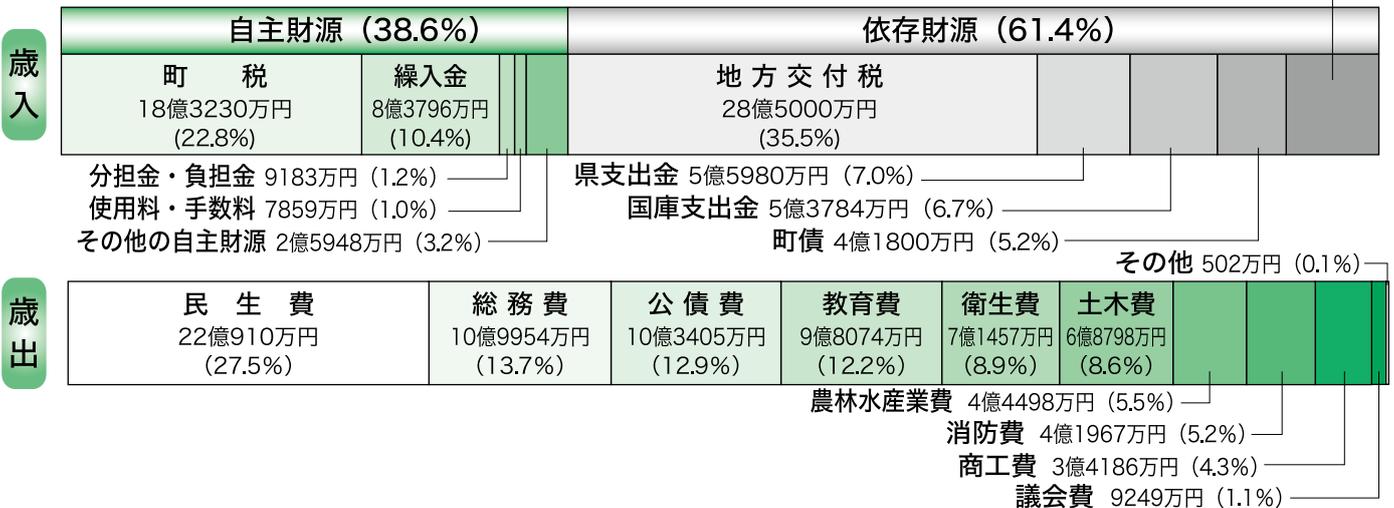
会計名	本年度予算額	対前年度比率
一般会計	80億3000万円	△10.3%
特別会計	ケーブルテレビ事業	2億9000万円 16.0%
	国民健康保険	21億2900万円 0.3%
	後期高齢者医療	2億4200万円 13.1%
	介護保険	20億円 1.2%
	下水道事業	3億100万円 △1.6%
	農業集落排水事業	4900万円 6.5%
計	50億1100万円	2.0%

水道事業予算	収入	支出
収益的収入及び支出	4億1200万円	3億8800万円
資本的収入及び支出	1億8730万円	3億750万円
計	5億9930万円	6億9550万円

一般会計の歳入財源内訳、性質別歳出内訳

歳入内訳		歳出内訳	
自主財源 38.6%		投資的経費 6.8%	
		消費的経費 64.5%	
依存財源 61.4%		その他の経費 28.7%	

令和4年度一般会計歳入歳出の内訳（総額80億3千万円） その他の依存財源 5億6420万円（7.0%）



一般会計予算の町民1人当たり目的別予算額（前年度との比較）

（単位：円）

議会費	総務費	民生費	衛生費	農林水産業費	商工費	
6,110 (6,051)	72,634 (64,747)	145,931 (141,840)	47,204 (45,670)	29,395 (25,007)	22,583 (25,952)	
土木費	消防費	教育費	災害復旧費	公債費	予備費	合計
45,447 (48,290)	27,723 (26,135)	64,787 (119,913)	1 (1)	68,308 (70,527)	330 (321)	R4.4.1現在人口 15,138人
						530,453 (574,454)

上段が  
令和4年度  
下段が  
令和3年度



予算審査特別委員会(3月10日及び11日)での採決状況

賛成:○ 反対:●

議案番号	会計名	議員名									
		大金清	川俣義雅	益子純恵	小川正典	大金市美	益子明美	川上要一	阿久津武之	小川洋一	鈴木繁
議案第22号	一般会計	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	ケーブルテレビ事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	国民健康保険特別会計	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	後期高齢者医療特別会計	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号	介護保険特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号	下水道事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号	農業集落排水事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号	水道事業会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※福田浩二委員長は採決に加わりません。

人事案件

◆人権擁護委員の推薦

(全員賛成 原案可決)

蓮見 和恵氏(新任)

薄井秀雄氏(小川)が6月30日に任期満了となるため、後任委員として蓮見和恵氏(小川)を推薦しました。

条例制定

◆犯罪被害者等支援条例

(全員賛成 原案可決)

犯罪被害者等の支援に関し基本理念を定め、町民が安全に安心して生活することができる地域社会の実現に向けて施策の基本事項を定めるため、新たに条例を制定したものです。

条例改正

◆土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例の一部改正

(全員賛成 原案可決)

不適切な土砂等の埋立ての発生を未然に防止し、生活環境及び自然環境を保全するため、許可申請

を要する土砂等の埋立て等に供する面積を引き下げるなど、所要の改正を行うものです。

【改正のポイント】

- ① 許可申請を要する土砂等の埋立て等に供する区域の面積を10000㎡から5000㎡に引き下げ
- ② 改良土を許可対象外
- ③ 栃木県外で発生した土砂等の搬入を禁止
- ④ 許可申請前に事前協議と周辺関係者への説明を規定
- ⑤ 土砂等を建設発生土に限定
- ⑥ 土砂等は県内で発生したものを直接搬入



消防団員報酬の改正

年額報酬	階級	改正後	改正前
	副団長	160,000円	130,000円
	班長	40,000円	36,000円
	団員	36,500円	31,000円
出勤報酬	区分	改正後	改正前
	災害等対応(火災・水害など)	2時間まで2,000円 1時間経過毎1,000円加算 (1日上限8,000円)	1回1,500円
	点検・訓練	2,000円	1,000円
	警備・その他	1,000円	1,000円



◆特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

(全員賛成 原案可決)

国の基準に基づき、消防団員の報酬の見直しに伴う改正及び、学  
校評議員の廃止により項目を削除するため、所要の改正を行うものです。

プール・トレーニング室 使用料金一覧

(単位：円)

		1回券	回数券 (12回券)	定期券			
				(1か月)	(3か月)	(半年)	(年間)
プー ル	幼 児	保護者1人につき3人まで無料(4人目以降1人増えるごとに100円増)					
	小 学 生	100	1,000	650	1,800	3,300	6,000
	中 学 生	200	2,000	1,300	3,600	6,600	12,000
	高 校 生	300	3,000	1,950	5,400	9,900	18,000
	一 般	500	5,000	3,250	9,000	16,500	30,000
	町内65歳以上	300	3,000	1,950	5,400	9,900	18,000
トレーニング室	高 校 生	300	3,000	1,950	5,400	9,900	18,000
	一 般	500	5,000	3,250	9,000	16,500	30,000
	町内65歳以上	300	3,000	1,950	5,400	9,900	18,000
プール・ トレーニング室 共 通	高 校 生	500	5,000	3,250	9,000	16,500	30,000
	一 般	900	9,000	5,850	16,200	29,700	54,000
	町内65歳以上	500	5,000	3,250	9,000	16,500	30,000



◆ 体育施設条例の一部改正

(起立多数 原案可決)

屋内水泳場利用者の利便性を高めるため、屋内水泳場の使用料に、1か月定期券と3か月定期券の項目を追加するため、所要の改正を行うものです。

◆ 重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部改正

(全員賛成 原案可決)

栃木県が令和4年度より、重度心身障害者医療費助成の対象者を拡大し、精神障害者保健福祉手帳1級所持者を追加することから、これに対応するため、所要の改正を行うものです。

補正予算

一般会計 4億円 補正

◆ 一般会計補正予算

(全員賛成 原案可決)

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業及び、国・県等の補助事業の追加認定となったもの。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により事業を中止したものの。

年度末を迎え、各種の事務事業費が確定、見込みがついたもの。

令和4年度に繰り越すべき事業が決定したことなど、年度末までの歳入及び需要額等を見越した精査、清算により、総額4億円の増額となりました。

また、馬頭中学校施設整備事業や町道薬利後沢線の道路改良事業、プレミアム商品券発行事業など4億6442万円が翌年度に繰り越されました。

【主な補正事業】

・ 減債基金積立金

2億2252万円

・ 馬頭中学校施設整備事業に係る経費

1億4800万円

・ 農業用ため池長寿命化計画策定事業に係る経費

4400万円

・ プレミアム商品券発行事業に係る経費

4000万円

・ 地域振興基金積立金

3145万円

・ 体育施設整備事業に係る経費

△1億2600万円

・ 認定こども園会計年度任用職員に関する経費

△2536万円

(△は減額)

【主な繰越事業】

・ 馬頭中学校施設整備事業に係る経費

1億5800万円

・ 地方道路交付金事業(町道薬利後沢線等)に係る経費

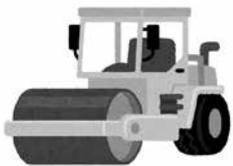
9450万円

・ 町道改良舗装事業(町道都新道線等)に係る経費

7149万円

・ プレミアム商品券発行事業に係る経費

4000万円



**質問** 町に17か所の農業用ため池があるが、長寿命化計画策定が済んでいるのは何か所か。

**答弁** 今年度末までに6か所が完了、今回の補正予算で4か所を行う。残り7か所は新年度予算で。

**質問** まほろばの湯にサーマルカメラを設置するが、備品購入について、指定管理者と協定はあるか。

**答弁** 新型コロナウイルス対応として設置。明確な取り決めはない。  
**質問** 認定ことも園諸費の減額の理由は。

**答弁** 当初予算で会計年度任用職員37名分を予算化していたが、実際には予定人数に満たなかったため、報酬等を減額した。

**質問** 地方交付税が昨年度より増額している理由は。

**答弁** 基準財政需要額として地域振興費や公債費などの増と、基準収入額として町民税の減収などにより、増額した。

**ケーブルテレビ事業特別会計補正予算**

**国民健康保険特別会計補正予算**

**後期高齢者医療特別会計補正予算**

**介護保険特別会計補正予算**

(いずれも全員賛成 原案可決)

年度末を迎えるにあたり、事業の完了あるいは完了見込みによる精査、清算により、特別会計4会計で総額1億5500万円を増額しました。

令和3年度 一般会計及び特別会計補正予算

(単位：千円)

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	9,636,000	400,000	10,036,000
ケーブルテレビ事業特別会計	250,000	2,000	252,000
国民健康保険特別会計	2,124,000	88,000	2,212,000
後期高齢者医療特別会計	214,500	5,000	219,500
介護保険特別会計	1,986,300	60,000	2,046,300

指定管理

**◆青少年旅行村「那珂川グリーンヒル」に係る指定管理者の指定**

(全員賛成 原案可決)

青少年旅行村「那珂川グリーンヒル」の施設の維持管理や運営、施設の利用許可などについて、令和4年4月から3年間、引き続き、有限会社星種豚場(代表取締役屋正美)を指定管理者に指定するものです。

指定管理料限度額

年460万円



青少年旅行村「那珂川グリーンヒル」

**◆まほろばの湯湯親館等の施設に係る指定管理者の指定**

(起立多数 原案可決)

まほろばの湯湯親館等の施設及び設備等の維持管理などについて、昨年度に引き続き、令和4年4月から1年間、株式会社まほろばおがわ(代表取締役福島泰夫)を指定管理者に指定するものです。

指定管理料限度額

年1600万円

**質問** 令和3年度から指定管理料が支払われているが、適切な管理のため、改善策として取り組んだことは。

**答弁** 開館時間の延長。



まほろばの湯湯親館

第2回定例会(3月4日・15日)の議案採決の状況

賛成:○ 反対:●

議案の内容		議員名	福田	大金	川俣	益子	小川	益子	大金	川上	阿久津	小川
			浩二	清	義雅	純恵	正典	明美	市美	要一	武之	洋一
議案第1号	人権擁護委員の推薦意見について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	那珂川町犯罪被害者等支援条例の制定について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	那珂川町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	那珂川町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	那珂川議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	那珂川町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	那珂川町職員の給与に関する条例の一部改正について	町長提出	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	那珂川町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	那珂川町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	那珂川町土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生防止に関する条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	那珂川町馬頭総合福祉センター条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	那珂川町重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	那珂川町体育施設条例の一部改正について	町長提出	○	○	●	○	●	○	○	○	●	●
議案第14号	那珂川町高額療養費資金貸付基金条例の廃止について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	令和3年度那珂川町一般会計補正予算(第6号)の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	令和3年度那珂川町ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第1号)の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	令和3年度那珂川町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	令和3年度那珂川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	令和3年度那珂川町介護保険特別会計補正予算(第3号)の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	まほろばの湯湯親館等の施設に係る指定管理者の指定について	町長提出	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	那珂川町青少年旅行村「那珂川グリーンヒル」に係る指定管理者の指定について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	令和4年度那珂川町一般会計予算の議決について	町長提出	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	令和4年度那珂川町ケーブルテレビ事業特別会計予算の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	令和4年度那珂川町国民健康保険特別会計予算の議決について	町長提出	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	令和4年度那珂川町後期高齢者医療特別会計予算の議決について	町長提出	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号	令和4年度那珂川町介護保険特別会計予算の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号	令和4年度那珂川町下水道事業特別会計予算の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号	令和4年度那珂川町農業集落排水事業特別会計予算の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号	令和4年度那珂川町水道事業会計予算の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※鈴木繁議長は採決に加わりません。

# 一般質問！ 大金 清議員

- Q 新型コロナウイルスワクチン接種の現状と感染症の対応策について
- Q 道路の整備計画について
- Q SDGs(持続可能な開発目標)の町の取り組みについて

## 3回目のワクチン接種完了日は

(町長) 5月中旬から下旬に完了予定



大金 清議員

### ワクチン接種と感染症対策

**質問** 5歳から11歳の子どもに対するワクチン接種の安全性と接種計画は。

**答弁** ワクチンの有効性が期待でき、安全性に重大な懸念は認められないことから、保護者の承諾により接種可能。3月下旬には接種が開始できる見込み。

**質問** 子どもに対するワクチン接種の周知は。

**答弁** 決定次第、ホームページ等を通じて対象者に周知。

**質問** 町民に対しての新たな感染症対応策は。

**答弁** 引き続き、マスク着用、手洗い、消毒などの基本的対策を徹底。町の集団接種を前倒し、より迅速に追加接種を進め、必要な対策を実施する。

### 国、県道路整備計画

**質問** 国道293号矢又地内の歩道整備計画は。

**答弁** 未整備区間は約2800m。令和4年度より整備手法を検討し、用地取得後に整備予定と聞いている。

**質問** 国道461号の整備計画は。

**答弁** 大内地内大平バイパスの整備に向け、令和3年10月に地元説明会を開催し、令和4年度は詳細設計に着手すると聞いている。御前岩物産センター付近の800m区間は、地元説明会及び測量が完了し、用地取得後に整備予定と聞いている。

### SDGs(持続可能な開発目標)

**質問** SDGs 未来都市を目指す考えは。

**答弁** SDGsについて職員が理解を深め、企業や地域などに協力を頂きながら国の制度も活用し取

り組む。

**質問** SDGs推進宣言の町にする考えは。

**答弁** 県内9市町が賛同している。SDGsに対する姿勢を広く発信できるよう、宣言に向けて取り組んでいく。

**質問** SDGsのロゴマークを最大限に活用しては。

**答弁** 今後の推進計画等にロゴマークを入れる。SDGsの何番目に当てはまるかを記載する。



SDGsのロゴマーク  
【国際連合広報センターより】

### 3回目のワクチン接種

**質問** 3回目の接種状況は。

**答弁** 2月28日時点で3回目接種完了者は、3903名、接種率は、24.9%。

**質問** モデルナワクチン接種の副反応の状況は。

**答弁** 接種会場においてアナフィラキシーショックなどの副反応を発生された方はいない。

# 一般質問！ 川俣義雅議員

Q デマンドタクシーの利便性向上について  
Q 地球温暖化対策の推進計画について

## 利便性向上のためデマンドタクシーの改善を

(町長) 何らかの見直しをしたい



川俣義雅議員

### デマンドタクシーの利便性向上

**質問** 大田原市のデマンドと接続させる実証実験は画期的なことと受け止めている。町の将来に向けてのデマンドタクシーの位置付けは。

**答弁** 今後も、公共交通事業として町内の重要な移動手段と位置づけている。

**質問** 町民アンケートを実施し、土日の運行・便数増・目的地増・低料金など多数の要望が寄せられた。1年以内に改善できないか。

**答弁** 大田原市とのデマンド接続を機に、来年度、デマンド交通自体を見直し、前進させる。

**質問** 町長が下野新聞で「デマンドタクシーとコミュニティバスの接続で那須南病院へ行くのを便利にしたい」と述べていたが、具体策は。

**答弁** デマンドタクシーとコミュニティバスを乗り継ぐことは可能。

**質問** 大田原市とのデマンド接続が佐良土で行われている。白久の農協本店で、那須烏山市とデマンドやコミュニティバスを接続させるなど考えられるか。

**答弁** 一步でも前進できるよう、那須烏山市と担当者レベルで協議している。

**質問** 現在、運転免許証返納者に6000円分のデマンドタクシー券が支援されているが、改善できないか。

**答弁** 利用状況を踏まえ検討する。

**質問** デマンドの充実無しの運転免許証返納は考えられないなどの意見が寄せられている。返納に踏み切れない思いをどう捉えるか。

**答弁** デマンドタクシーの充実のため、便数の増加なども含め検討する。

**質問** 運転免許証返納者に手厚い支援が必要だが、改善策は。

**答弁** 今後、研究、検討していく。



大田原市との接続場所（大田原市佐良土）

### 地球温暖化対策の推進計画

**質問** 温室効果ガスの緊急的な削減が求められているが、温暖化対策についての町の基本的考えは。

**答弁** 国が定める、自然的社会的条件に応じた施策を推進すること、自ら排出する温室効果ガスの削減等措置を講ずること、住民への情報提供等を講ずること、の3項目を実施していく。

**質問** ごみを徹底的に分別回収して資源化し、焼却処分をしない自治体がある。那珂川町も、生ごみ堆肥化を進め、プラスチックや雑紙等の分別回収を徹底すれば、ごみを燃やさない町になるのでは。

**答弁** 目指す方向で努力したい。

**質問** ごみ処理は町の将来を考えていく上で大きな問題。し尿処理は下水処理施設を活用し、ごみを燃やさなければ、衛生センターの姿は全く違ってくる。そういう方向にかじを切ることを要望するが。

**答弁** 将来を見越した衛生センターについて、那須烏山市と協議していく。

# 一般質問！ 小川正典議員

- Q 放課後児童クラブの管理運営について
- Q 移住・定住施策について

## 小川放課後児童クラブの老朽化対策は

(町長) 小学校の教室活用か、新たな施設の建設か、

基本方針を定める



小川正典議員

プを使い続ける理由は。

**答弁** 馬頭小学校の大規模改修に伴い仮設の保育室として設置。利用者が増加し、平成30年度から2クラス体制となった。低学年の児童がプレハブ教室を利用して

### 小川放課後児童クラブの老朽化

**質問** 小川放課後児童クラブの建物内には、立入禁止エリアが数か所あるが、安全対策は。

**答弁** 簡易の壁などで、児童が入らないよう対応する。

**質問** 小川放課後児童クラブの洋式トイレは男女共用で2基しかないが、安心して使用できるトイレを設置する考えはあるか。

**答弁** 男女共用であるのは、町の配慮が欠けていた。児童が躊躇なく利用できるよう、男女別のトイレ

レの設置を検討し予算化する。

**質問** 小川放課後児童クラブは、老朽化した建屋、機能低下したエアコンやトイレ問題など、施設環境が良くない。将来を担う那珂川町子どもたちのため、早急に具体的な計画を立案する考えはあるか。

**答弁** 小学校の空き教室を活用するか、新たな施設を建設するか、基本方針を定めて町の振興計画に掲げ、具体的な計画の策定、調査研究を進める。



老朽化が著しい小川放課後児童クラブ

### 移住・定住施策

**質問** 高手の里分譲地の今後の施策は。

**答弁** 移住希望者に多くの選択肢を提供するため、引き続き紹介していく。田舎暮らし体験住宅も、町内への移住を検討する際の拠点として活用してもらえよう一層PRする。

**質問** 過去10年間で購入者は1人もいない。分譲を諦める必要があるのでは。

**答弁** 移住希望者により多くの選択肢を提供する意味でもPRを続けていく。

**質問** 子育て世帯に定住を促進する分譲宅地整備の具体策は。

**答弁** 未利用公共施設の土地の活用から検討し、令和5年度中に整備工事を完了させ分譲を開始する。

### 放課後児童クラブの管理運営

**質問** 過去5年間の放課後児童クラブの利用者状況は。

**答弁** 現在、馬頭放課後児童クラブは63名、5年間で19名増。小川放課後児童クラブは43名、5年間で13名増。少子化が進んでいる中、増加し続けている。

**質問** 馬頭放課後児童クラブにプレハブを設置した理由と、プレハ

# 一般質問！ 大田市美議員

- Q 交番、駐在所の設置要望について
- Q デマンド交通運行事業について

## 人件費や燃料費の高騰による運行事業者の影響は

(町長) 車両運行経費の算定方法について

見直しの必要性等を精査



大田市美議員

**質問** 馬頭地区内にも、駐在所や交番のように、警察官が駐留する施設があったほうが事件や犯罪の抑止力になるのでは。

**答弁** 確認はしていないが、警察署が北向田に移転し、本署が馬頭市街地も管轄するため駐在所が設置されていないと考える。

## デマンド交通運行事業

**質問** 現在の運行状況について伺う。

**答弁** デマンドタクシーは平日運行で、ワゴン車3台とタクシー3台の1日6便、最大で1便6台が運行している。

利用者は、令和元年度は1万3277名、令和2年度は1万53名、今年度は1月末で7792名。

**質問** 今後、増便や路線を拡充する考えはあるか。

**答弁** 路線拡充について、本年2月21日より大田原市との広域連携デマンド交通の整備に向けた実証運行を始め、1日2便、両デマンド交通の乗継ぎを可能とした。

これまでどおり、那珂川町区域内で運行を行い、今後、大田原市との連携同様、隣接自治体との連携を進めることで対応したい。

**質問** 人件費や燃料費の高騰で、運行業者に影響はないか。

**答弁** デマンドタクシーは、車両



デマンドタクシーの充実が望まれる

運行経費を定額で算定していることから、物価の変動等が経営を圧迫する度合いが見えにくい。

今後、運行事業者から実際の経費状況等を提供していただき、車両運行経費の算定方法について、見直しの必要性などを精査していく。

**質問** 運転手不足になった場合、事業者が人材を確保するが、町も人材確保の手伝いを行うのか。

**答弁** 運行事業者はタクシー会社で、タクシーの運転を本業とする方4名と、デマンド担当2名、運転手は合計で6名いる。町として、人材確保への支援は考えていない。事業者で探していただく。

## 交番、駐在所の設置要望

**質問** 地域住民の安全と安心の拠り所として、また住民の身近な不安を解消するためにも、関係機関に交番や駐在所の設置を要望してはどうか。

**答弁** 交番や駐在所の設置については、国家公安委員会が定める地域警察運営規則に基づき、人口や世帯数、犯罪や交通事故の発生件数など総合的に判断して設置される。馬頭市街地が設置基準に合致するか那珂川警察署に確認する。



# 一般質問！ 益子明美議員

- Q 急激な少子化へ対応した学校運営について
- Q 公園管理について

## 特色ある英語教育や地域の特性を生かした教育移住を

(教育長) 各学校の教育活動が評価され

児童生徒が増えるのが理想



益子明美議員

進めるべきでないと思えるが、町の考えは。

【答弁】 現時点で、学校の統廃合については考えていない。

### 英語教育の充実による教育移住

【質問】 英語教育や地域の特色ある教育施策を推進し、教育移住施策に取り組みべきでは。

【答弁】 教育委員会は各学校の特色ある教育活動を支援する立場。本町の英語教育等が評価され、その結果、移住・定住者が増え児童生徒数が増えることが理想。

【質問】 本町の英語教育は先進的な取組をしてきた。認定こども園での外国語活動を充実し、移住・定住策としてPRすべきではないか。

【答弁】 那珂川町ハッピースローププランにおける学びの場の継続を意識した教育活動の充実を図って

いる。令和4年度はALTなどの訪問を年7回に増やし、より充実した外国語活動を計画している。

【質問】 ALTの訪問が年7回では少ないのでは。より回数を増やし充実させるため、ALTの増員は。

【答弁】 今後、活動を通して必要となれば検討していく。

【質問】 ながわぐらしの移住・定住サイトに、移住を考える子育て家庭向けの教育情報が載っていない。こども園での外国語活動やホースヘッズ村への交換留学等を掲載し、子育て世代向けに特化した移住サイトにすべきでは。

【答弁】 特色ある教育等について率先して載せるべきと考える。情報収集し、できるだけ早く載せていく。



老朽化対策が急がれる馬頭公園

### 馬頭公園のトイレ改修・遊具等の整備充実を

【質問】 馬頭公園は本町の中心的な公園として長年親しまれてきたが、近年、トイレや遊具等の老朽化が激しく危険である。時代に即した遊具の設置や、防災にも対応したトイレへの改修等を行い、たくさんの方が訪れる公園となるよう整備すべきでは。

【答弁】 利用者ニーズを的確につかみ、それに沿った遊具やトイレ等の改修を含めた改修計画を、令和4年度に策定できるよう進める。

### 少子化に対応した学校運営

【質問】 令和2年度の出生者数は58人、令和3年度は46人と聞いている。急激な少子化に対応する学校運営について、どのような対策を行うか。

【答弁】 今後、本町の小中学校は文部科学省が示している児童生徒数の適正規模を下回る。状況に応じて教育課程を工夫しながら対策を講じる。

【質問】 これ以上、学校の統廃合は

# 一般質問！ 益子純恵議員

Q 介護予防の新たな概念としてのヒアリングフレイル対策について  
Q 那須神田城跡の恒久的な保存と周知について

## 聴覚機能低下がもたらす認知症進行リスクへの対策は

(町長) 正しい知識の啓発とともに、

対策を検討する必要性がある



益子純恵議員

**答弁** 専門家から知識を得て、チェック後の治療への結び付け、フォローアップ体制を作ることが必要と考える。

**質問** 町が旗振り役となり、提唱者や耳鼻科医から講演を頂き、地域が連携して取り組む体制を構築してもらいたい。

**答弁** 実際に行われている現場を見て、本町で有効であれば、導入できるように調整したい。

**質問** 住民サービス向上のため、高齢者が多く利用する窓口に対話支援機器の導入を。

### ※ヒアリングフレイル

聴き取る機能の衰えのことです。聴こえにくさから会話に参加することが困難になると人とのつながりが低下し、フレイルや認知症の原因になります。

(豊島区HPより引用)

**答弁** 効果や有効性を研究し、有効であれば次の段階に進みたい。

### 那須神田城跡の恒久的保存と周知

**質問** 史跡の保存と地権者の生活権の保障の調整のため土地の公有化が不可欠。前進させるために整備基本計画が必要だが、策定の予定はあるか。

**答弁** 文化財保護活用地域計画策定を予定しており、その中で那須神田城跡についても検討する。

**質問** 公有化に向けた土地購入費には、補助対象経費の5分の4という文化庁の補助金がある。活用すべく作業を進めていただきたい。

**答弁** 補助事業の優先採択措置が講じられるというメリットもあるので、県の助言をもらいながら計画策定を進めていく。

**質問** 那須与一を生み出した那須家ゆかりの地であるというアピールが必要では。

**答弁** マスメディア等での情報発信、

信、風土記での歴史講座、子どもたちの体験講座の中で取り組んでいく。

**質問** 子どもたちの地域への愛着形成のため、教育活動の中に、那須神田城などに興味を持つ機会を取り入れていただきたい。

**答弁** 小中学校の児童生徒に教育活動の一環として、体験を通して地域の教育的遺産を学習する機会を積極的に取り組んでいく。



恒久的な保存と周知が求められる那須神田城跡

介護予防の新しい概念  
ヒアリングフレイル※

**質問** 基本的知識習得のためヒアリングフレイルサポーター養成講座を受講しては。

**答弁** 介護福祉の専門家の知識習得が重要であるので検討する。

**質問** 那珂よし健康ポイント事業に絡め、耳の健康をチェックするヒアリングフレイルチェックの実施を。

## 広域行政事務組合から説明

一般廃棄物処理施設整備事業

開催日 3月3日

南那須地区広域行政事務組合において進められている、一般廃棄物処理施設整備事業の状況及び、それに関連する令和4年度当初予算に関し、南那須地区広域行政事務組合から説明がありました。

令和4年度当初予算には、一般廃棄物処理施設候補地の用地測量・地質調査業務や、し尿処理施設整備基本計画策定業務に係る費用などが計上されています。

一般廃棄物処理施設候補地の用地測量・地質調査については、地権者の同意が必要となるため、地元説明会の開催や地権者と交渉した上で、地元からの協力が得られた段階での予算の執行となること。し尿処理施設整備基本計画策定業務については、現在と同様に、ごみ処理施設との併設か、下水道処理施設を活用した下水道放流方式か、将来的な展望も含めて検討していくとの説明がありました。



説明する広域行政事務組合担当者



## 《常任委員会の経過》

### 総務産業常任委員会

開催日 2月15日

那珂川町水道事業ビジョン(案)について、上下水道課から説明を受けました。

本計画は、厚生労働省が策定した「新水道ビジョン」の方針に基づき、施設等の整備や事業運営の目指すべき方向性を定め、取組むべき施策をまとめたもので、計画期間は令和4年度から令和13年度までの10年間。

### 教育民生常任委員会

開催日 2月2日

那珂川町生涯学習推進計画【第3期】(案)、第2次那珂川町男女共同参画推進計画(案)、那珂川町体育施設条例の一部改正について、生涯学習課から説明を受けました。

開催日 3月3日  
生涯学習課から、町民プール建設工事の進捗状況について。住民課から、国民健康保険給付費に係る返還請求権の放棄について、それぞれ説明を受けました。



工事の進捗状況について説明を受ける

《特別委員会の経過》

議会広報特別委員会

開催日 3月25日、4月21日、  
4月28日  
議会だより5月10日発行第67号  
について編集を行いました。



最後の編集を終えて

2年間、ご愛読いただきありがとうございました。4月30日の議員任期満了によりまして、今期議会広報特別委員会としての職務が終了しました。

◆議会広報特別委員会

- 委員長 福田浩二  
副委員長 川俣義雅  
委員 大金清、益子純恵、益子明美

議会の運びと内容

令和4年 2月	2日	議会広報特別委員会	(第21回、第66号発行)
	2日	教育民生常任委員会	
	10日	議会だより第66号発行	
	15日	総務産業常任委員会	
	21日	全員協議会	
	22日	議会運営委員会	(3月定例会)
3月	25日	南那須地区広域行政事務組合協議会定例会	
	2・3日	令和4年第2回議会定例会(一般質問)	
	3日	全員協議会	
	3日	教育民生常任委員会	
	4日	令和4年第2回議会定例会(議案審議)	
	4日	予算審査特別委員会	
	7日	予算審査特別委員会(1日目・一般会計)	
	8日	予算審査特別委員会(2日目・一般会計)	
	9日	予算審査特別委員会(3日目・一般会計)	
	10日	予算審査特別委員会(4日目・一般会計)	
	11日	予算審査特別委員会(5日目・特別会計)	
	15日	令和4年第2回議会定例会(議案審議)	
	15日	全員協議会	
	25日	議会広報特別委員会	(第22回、第67号発行)
	4月	17日	那珂川町議会議員選挙
21日		議会広報特別委員会	(第23回、第67号発行)
22日		初当選議員打合せ会・議員懇談会	
28日		議会広報特別委員会	(第24回、第67号発行)
30日		現職議員任期満了	
5月	6日	令和4年第3回議会臨時会	
	10日	議会だより第67号発行	



馬頭広重美術館「友の会」ボランティア部

部長 磯 敏雄さん



なかちゃんが聞きました。

Q ボランティア部の始まりは？

A 馬頭広重美術館オープン前からだよ。ボランティア養成講座が前身だね。50人から60人参加していたよ。

Q メンバーは何人？

A 40人くらいかな。20年以上活動している人もいるよ。

Q メンバーは町内の人？

A 町外のメンバーも10人くらいいるよ。県外の人もあるよ。

Q ユニフォームのロゴマークは？

A 馬と鹿の絵文字だよ。馬は寿。鹿は福。福寿が隠れて面白いね。



見守るボランティア

Q 活動で心がけていることは？

A 入館者が美術品を静かに鑑賞できるように見守ることが大切だね。心配りも必要かな。

Q 大変なことは？

A 展示品の説明や解説はできないので職員の方をお願いすることもあるよ。「おしゃべりや、騒がない、展示品を触らないとか」を見守ることも大変かな。

Q 活動して良かったことは？

A 全ての展示品が見られるからいいね。いろいろな人と交流もできて楽しいよ。

馬頭広重美術館



Q 活動を続けるコツは？

A 一番は、絵を好きになることだね。継続は力なり。

Q これからの希望は？

A いろいろ勉強したいね。もっともっと仲間が増えれば楽しいな。部員の募集もしているよ。「なかちゃんPR頼むよ。」



広重美術館をもっともっと盛り上げていくため、わたしもボランティア部に入ろう。みんなも一緒に！

議会を傍聴しませんか

皆さんの身近な問題などが審議されます。

傍聴の際には、マスク着用・手指消毒など、感染防止対策にご協力願います。

次の定例会は、6月7日 開会 (令和4年第4回議会議定例会)の予定です。

議場は、庁舎2階です。

ケーブルテレビ(11ch)で議会が生中継されます。

第2回3月定例会の議会議傍聴者数

2日	6人
3日	3人
4日	1人
15日	1人

●表紙写真 ナカマルシエ

(あかねてらす・谷田)

□□ナ禍で開催されたナカマルシエ。天候にも恵まれ、多くの方が訪れていました。

お客さんたちは自然に距離を取りながら、イベントを楽しんでいました。マスク着用・手指消毒・ソーシャルディスタンス、感染防止対策が定着しています。

編集後記

議会だよりを愛読頂いている皆様ありがとうございます。

2期4年間、編集の一員として携わることができ、大変さもありましたが広く学ぶこともできました。

読者の皆様や編集メンバーに感謝申し上げます。

これからも、携わる機会がありましたら喜んで関わっていきたく思います。今後とも、議会だよりを宜しくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症の収束がまだまだ見えない状況であります。町民一丸となって、感染防止対策に努めてまいりたいと思っておりますので、皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

世界に目を向けますと、ロシアがウクライナに侵攻し、悲惨な状況が報道されています。まさかが起こってしまいました。平和について、家族で考えています。ウクライナの平和を祈ります。

議会広報特別委員会 委員 大金 清

過去の議会だよりはこちらのQRコードで見られます。

那珂川町ホームページ <http://www.town.tochigi-nakagawa.lg.jp/>

